

国際力 アップへ

IT教育 ◀▶ 実戦英語

千葉工大の学生は神田外語大において国際社会で通用する実戦的な語学力を身につけ、神田外語大の学生は千葉工大で学んだIT(情報技術)などの知識を生かして、国際人として一層のスキルアップを目指す。本学と神田外語大学は4月14日、カリキュラムの連携や単位互換科目の拡充など幅広い分野での相乗発展を目指す包括的な連携協定を締結した。これに基づいて早ければ今年度後期から一部カリキュラムでの学生同士の新たな交流が始まることになる。

外語大学・千葉工業大学 包括連携協定締結式



包括連携協定の締結式で。(左から)神田外語大の酒井学長、佐野理事長、本学の瀬戸熊理事長、小宮学長

神田外語大と連携協定

千葉市美浜区若葉の神田外語大キャンパスで行われた協定締結式には、本学から瀬戸熊理事長、長、酒井邦弥学長らが出席した。外語大学からは佐野元泰・学校法人佐野学園理事長、熊理事長は「この協定によって、お互いの知財・

大学間連携の理想的な形を、千葉の地からつくりたい」と述べた。また、小宮学長は「私は就任以来、『世界文化に技術で貢献する』という建学の精神の下、国際化・グローバル化を推進し、昨年度は海外5大学と交流協定を締結した。今後は両大学共に、ますます国際化を進めたいと思う」、酒井学長は「両大学は経営者同士の信頼感、お互いを補完しうる教育、距離の近さ、求める人材が共通している」という4つのポイントが重要な要素で通じている。学生のため、日本のためになる提携を実現したい」と語った。

相乗発展目指す 年度内にも始動

「これからは英語でプレゼンテーションができるというだけでは就職の際、企業は評価してくれない。大切なのはプレゼンテーションの中心であり、ITの知識は大きな武器になる」(神田外語大)

「国際的に活躍する技



長年にわたって本学で教鞭をとられ、学術の向上に寄与された4氏に、4月23日付で千葉工業大

本学名誉教授に4氏

名誉教授の称号が授与された。

名誉教授となられたのは元生命環境科学科教授の高久洋氏、建築都市環境学科学科教授の渡邊勉氏、教育センター教授の鶴澤惇氏、また、電気電子情報工学科教授の故芳賀裕氏(追贈)。

人材・施設が活用できるよくなることは、教育的にも経営的にも有意義であり、すばままでできることから実行に移していきたい」とあいさつした。

佐野理事長も「単科大学同士、お互いの強みを生かした理想的な連携ができる」と期待している。

今回の協定締結の背景には、工学系と人文系という教育内容の異なる単科大学が持つそれぞれの強みを補完的に提供

術者にとってこれから不可欠の条件は、高度な英語によるプレゼンテーション能力。神田外語大における短期・集中型のカリキュラム開発の準備もすでに始められている。こうした協定の具体化に伴う学生のキャンパス相互往來のためのシャトルバスの運行も計画されている。

◇千葉工大生 論理的思考、グループワークが得意、ITに強い
◇神田外語大生 語学能力、高いコミュニケーションスキル、ポジティブシンキング
これらが混じり合い、新たな生き方に気づく機会を学生諸君に与えることも、この協定の背景にある大きな狙いだ。

Cool Biz 実施中

ノーネクタイ
節度ある軽装

5月1日～9月30日

- 提携の主な内容
- ・カリキュラムの連携
 - ・単位互換対象科目の拡充
 - ・神田外語大学内にある自立型学習支援施設 SACL Aなどの千葉工大生の利用
 - ・千葉工大内にある学習支援センター、コンピュータ演習室などの神田外語大生の利用
 - ・両大学が実施する各種活動への学生参加、協働イベントの開催等
 - ・教員・職員交流
 - ・両大学の研修施設の相互利用
 - ・シャトルバスの運行

予約不要
入場自由

AO入試説明会

AO入試希望者
CHECK!

6/22日
12:00-16:00

会場 津田キャンパス6号館
受付 11:30(係員1名)

プログラム
AO入試説明会
AO入試希望者体験授業
AO入試希望者質疑応答

千葉工業大学

瀧山さんに笹川助成金 新有機材料の研究で



瀧山勇一郎さん(生命環境科学専攻修士2年)が研究する「新規機能性有機材料を志向したC3対称を有するヘテロ縮合環三量体の迅速的合成」に、日本科学協会の平成26年度笹川科学研究助成金(学術研究部門・一般科学研究)が決められた。4月25日、東京・赤坂のインターコンチネンタルホテル東京で授与式があった。

この構造を持つ分子は、大きな電荷輸送能や青色蛍光など電気・光学的にユニークな特徴を示す。しかし、置換基をヘテロ縮合環に変えたものは報告が稀だった。

瀧山さんはヘテロ縮合環を出発物質に、電子・有機材料となり得るベンゼン環を中心としたC3対称性(ある軸の周りを360度回転させると3回対称になる)三量体骨格を迅速形成する方法が考えられた。



●福本さんの梱包作品 ●賞状を手にする福本さん(左端)と研究室のメンバー

まるで「トランスフォーム梱包」

福本さん日本一に

SDL決定戦

瀧山さん(生命環境科学専攻修士2年)が研究する「新規機能性有機材料を志向したC3対称を有するヘテロ縮合環三量体の迅速的合成」に、日本科学協会の平成26年度笹川科学研究助成金(学術研究部門・一般科学研究)が決められた。4月25日、東京・赤坂のインターコンチネンタルホテル東京で授与式があった。

国内最大の学生卒業設計展「せんだいデザインリーグ2014卒業設計

日本一決定戦(略称SDL)仙台建築都市学生会議、せんだいメディア

学百周年記念会館川内秋ホール)で、福本彩織さん(建築都市環境学科4

年・石原健也研究室)の、折られたる模倣作品が日本一に選ばれた。繊細で巨大な模型を無事に仙台に送り届けよう

品になってきたので、本選と併せて競われている。強度十運びやすさ十取り出しやすさ十機能美で審査され、優れた梱包に日本一、二、三と特別賞が与えられる。

福本さんの作品は、記憶をテーマとした「記憶のアーカイブ」。卒業設計では惜しくも選外に。一方、たちまち折りたためてコンパクトになる巧みに審査員らは目をみ

福本さんはシンプルで機能的で何かアクションのある梱包を、と考え、たたむ着想から、さらに、ふわっと折りたためる仕組みを考え、研究室の先輩・後輩と制作した。卒業設計提出後にフラッシュアップし、手伝ってくれた仲間へ感謝を込めてSDLに出展。532作品の中から最高賞に選ばれた。

PERC 松井所長にフェロー称号

地球惑星科学に多大な貢献



火星儀を手に松井所長

海洋の形成と進化についての顕著な貢献、および長年にわたり地球惑星科学の普及に貢献した」功績による。

松井氏はその考えを「地球学」に発展させ、地球と人間の関わり、生命の起源・進化と宇宙の関わりを解明を目指し、常に地球惑星科学の進むべき方向を示してきた。

サチューゼツ工科大招聘科学者、マックスプランク科学研究所客員教授などを経て2009年、本学に。近著「生命はどこから来たのか?」アス

トロバイオロジー入門(文春新書)で、宇宙は生命にあふれている」と

で生命起源論や宇宙での生命探査を語っている。

り注ぎ海洋も酸性化。これが白亜紀末の生物の大絶滅で非常に重要な役割を果たしたことを示唆した。

福本さんは「日本一」になって本当に良かった。2作品の中から最高賞に選ばれた。

世界的な惑星科学者、松井孝典(PERC)所長が2014年度の日本地球惑星科学連合フェ

1に選ばれ5月1日、横浜で開かれた同連合大会25周年記念式典で表彰された。受賞理由は「惑星科学、特に地球の大気・

日本地球惑星科学連合によると、松井所長は、地球惑星をトータルに理解する地球惑星システムという新しい捉え方を開拓。1980年代半ばに、地球形成時の天体衝突における固体地球・大気・海洋の形成と共

後、NASA研究員、マ

を明らかにし、世界に反響を呼んだ惑星探査研究

阪大近藤賞は、レーザーエネルギー学に貢献した若手研究者に授

計算では数日以内に酸性雨となつて全地球的に降

をすすめていきたいと考えています」と語っている。

大野 上席研究員に阪大「近藤賞」

生物の大量絶滅を解明「レーザーエネルギー学に貢献」

レーザー実験で白亜紀末の生物大量絶滅の状況

センタリー(PERC)の大野孝祐上席研究員が

大野上席研究員が主導した研究チームは、阪大

でなく、海洋、淡水を含めた白亜紀末の生物の大

大野上席研究員は「レーザーエネルギー学に



その結果、硫酸になりやすい三酸化硫黄(発煙硫酸)が放出され、理論計算では数日以内に酸性

大野上席研究員は「レーザーエネルギー学に

大野上席研究員は「レーザーエネルギー学に

大野上席研究員は「レーザーエネルギー学に

柴田准教授に論文賞

材料技術 生体適合材料を新合成



性(一端は水に馴染みにくい)を有する高分子がある中で、リン酸カルシウムを合

被覆したコア・シェル構造の「ポリスチレン

「ハイドロキシアパタイト粒子」の合成に成功したことを報告した。

本学着任時(2010年度)から橋本教授にご指導いただきながら始めた研究なので、受賞は非常にうれしく、今後の励みになります。

「材料技術研究協会(元島栖二会長)は、材料に関する科学技術の発展と実用化のために活動。研究発表会やセミナーを開き、優れた研究・技術に論文賞、進歩賞、技術賞などを授与している。

を決めた。また、furoが開発した模擬操縦訓練が可能な「災害対応ロボット操縦訓練シミュレーター」も活用されることになった。

遠隔移動ロボットで、目的に応じてセンサーを追加搭載するなど、用途に応じて改良を施すことを想定しています。本学は、今後、「櫻老號」の後継機など、より高度なロボットの研究開発を進めると同時に、日南と協力して「櫻老號」の用途拡大を進めていきます。

ナーでは、特別にフェンスの中に入れてもらって、実物にタッチ。戦闘で付いた傷まで「再現」されていることに驚きの声をあげていた。

「櫻老號」日本原電が導入

本学発、広がる原発対応技術

「櫻老號」の兄弟機。

今回、日本原電に納入されたのは、本学が提供した技術を基に(株)日南(堀江勝人社長)が事業化した「原発対応版櫻老號」。

Uroがこれまでに研究開発したヒト型ロボット「モルフ3」や、自動車技術とロボット技術を融合させた「ハルキゲニア01」、カブトガニのようなスタイルで、ビークル、アニマル、インセクトと3つのモードに変身する「ハルクII」などを実際に製造した。

「原発対応版櫻老號」は、①幅70センチの狭い踊り場でも旋回でき、斜度45度の階段でも昇降できる②約8時間の連続走行が可能③放射線、温度など建屋内部の調査に必要なさまざまな計測機器を搭載できる④高性能カメラによって、リアルタイムに現場の状況を監視できる⑤高い防水性能を備え、深さ1メートルの水中で30分間活動しても問題ないことを確認している。

「原子力緊急事態支援センター」は日本原電が2013年1月に設置した組織で、1年365日、24時間、原子力緊急時に対応できる体制を整備している。しかし、同センターがこれまでに導入した遠隔操作可能なロボット3台はいずれも米国製だった。

日南は競争入札の結果、国産ロボットとして初めて「櫻老號」の納入

を始めた。また、furoが開発した模擬操縦訓練が可能な「災害対応ロボット操縦訓練シミュレーター」も活用されることになった。

人工骨など生体関連材料を研究している生命環境科学科の柴田准教授が「写真」が橋本和明教授と連名で「材料技術研究協会の協会誌『材料技術』」に発表した「両親媒性高分子存在下における形態制御リン酸カルシウム粒子の調製」に関する2報が同協会論文賞に決まった。4月26日、東京理科大学神楽坂記念講堂で表彰された。

注目されている。だが合成途中に晶析反応が進んで粒子構造がアスベストに似た針状構造を持つ場合があり、生体に悪影響を与えかねない。そのため構造的に安全性の高い球状粒子の合成が望まれていた。

柴田准教授は論文で、まず、細胞膜を構成するリン脂質のように両親媒性(一端は水に馴染みにくい)を有する高分子がある中で、リン酸カルシウムを合

成途中に晶析反応が進んで粒子構造がアスベストに似た針状構造を持つ場合があり、生体に悪影響を与えかねない。そのため構造的に安全性の高い球状粒子の合成が望まれていた。

柴田准教授は論文で、まず、細胞膜を構成するリン脂質のように両親媒性(一端は水に馴染みにくい)を有する高分子がある中で、リン酸カルシウムを合

成途中に晶析反応が進んで粒子構造がアスベストに似た針状構造を持つ場合があり、生体に悪影響を与えかねない。そのため構造的に安全性の高い球状粒子の合成が望まれていた。

柴田准教授は論文で、まず、細胞膜を構成するリン脂質のように両親媒性(一端は水に馴染みにくい)を有する高分子がある中で、リン酸カルシウムを合

成途中に晶析反応が進んで粒子構造がアスベストに似た針状構造を持つ場合があり、生体に悪影響を与えかねない。そのため構造的に安全性の高い球状粒子の合成が望まれていた。

柴田准教授は論文で、まず、細胞膜を構成するリン脂質のように両親媒性(一端は水に馴染みにくい)を有する高分子がある中で、リン酸カルシウムを合

成途中に晶析反応が進んで粒子構造がアスベストに似た針状構造を持つ場合があり、生体に悪影響を与えかねない。そのため構造的に安全性の高い球状粒子の合成が望まれていた。

佐野教授に感謝状

機械学会 関東支部の発展に貢献



井キャンパスで開かれた同支部の記念式典で感謝状を贈られた。

感謝状によると、佐野教授は同支部千葉ブロック設立当初から長年、運営委員、

野教授は熱流体工学が専門で、マイクロ熱交換器の性能向上など、熱エネルギーの効率よい移動・制御を研究。本学と千葉ブロックが開く公開講座の講師も長年にわた

り務めた。機械学会の流体力学部門貢献表彰、タポ機械協会からも論文賞などを受賞。昨年1月、日本機械学会フェロ

に選ばれている。

「櫻老號」は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が2012、13年度に約10億円の予算を投じて実施した「災害対応無人化システム開発プロジェクト」の一環としてfuroが開発した災害対応ロボット「SAKURA」の知

見を基に、新たに開発された。今年1月、本学と三菱重工業との間で製造・販売契約が結ばれた

「これを機に、本学発のロボットが世界の原子力発電所に標準装備される日があることを期待している」と抱負を語った。

「櫻老號」は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が2012、13年度に約10億円の予算を投じて実施した「災害対応無人化システム開発プロジェクト」の一環としてfuroが開発した災害対応ロボット「SAKURA」の知

機械サイエンス学科の佐野正利教授「写真」が、日本機械学会関東支部創立20周年を記念し3月14日、東京農工大小金

商議員、支部幹事、メカトップ関東編集委員長、千葉ブロック長などを務め、学会と支部の発展に大きく貢献した。

感謝状によると、佐野教授は同支部千葉ブロック設立当初から長年、運営委員、

野教授は熱流体工学が専門で、マイクロ熱交換器の性能向上など、熱エネルギーの効率よい移動・制御を研究。本学と千葉ブロックが開く公開講座の講師も長年にわた

り務めた。機械学会の流体力学部門貢献表彰、タポ機械協会からも論文賞などを受賞。昨年1月、日本機械学会フェロ

に選ばれている。

「これを機に、本学発のロボットが世界の原子力発電所に標準装備される日があることを期待している」と抱負を語った。

「櫻老號」は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が2012、13年度に約10億円の予算を投じて実施した「災害対応無人化システム開発プロジェクト」の一環としてfuroが開発した災害対応ロボット「SAKURA」の知

見を基に、新たに開発された。今年1月、本学と三菱重工業との間で製造・販売契約が結ばれた

「これを機に、本学発のロボットが世界の原子力発電所に標準装備される日があることを期待している」と抱負を語った。



「櫻老號」を記者たちに説明する古田所長



心拓塾で。左が古田所長、右が河森さん

Area I、IIで心拓塾

ロボット所長とアニメ監督

古田&河森 ドリーム対談

「各界のヒーローと一緒に親子が楽しく学ぶ新しい学びのカタチ」をキャッチフレーズに活動している「心拓塾(ヒーローズエデュテインメント(株)主宰)」が4月13

日、東京スカイツリータウンキャンパスで開かれ、未来ロボット技術研究センターの古田貴之所長と、アニメ『マクロスF』の総監督などで人気のビジョントレーナー・河森正治さんの「ドリーム対談」が実現した。

「農業も肥料も使わず耕しもしない自然農法こそが、本物の作物を育てる」「あらかじめ解答が用意されている〇×式の教育が日本人の学力を低下させ、いまの子供たちが応用力を著しく低下させている(河森さん)」

日、東京スカイツリータウンキャンパスで開かれ、未来ロボット技術研究センターの古田貴之所長と、アニメ『マクロスF』の総監督などで人気のビジョントレーナー・河森正治さんの「ドリーム対談」が実現した。

「農業も肥料も使わず耕しもしない自然農法こそが、本物の作物を育てる」「あらかじめ解答が用意されている〇×式の教育が日本人の学力を低下させ、いまの子供たちが応用力を著しく低下させている(河森さん)」

「この架空のバルキリーをいつかは宇宙で本当に動かしたい」という古田所長と河森さんの思いを込めた「マクロス feat. CIT」プロジェクトも進行中だ。

「ドリーム対談」のテーマは「いかに子供たちの好奇心の芽を摘まずに、創造力を育むか」。

新理事に古田所長

(fuRo)

新評議員は5人 稲葉、前田、池永、井上、室川氏

2月10日に開かれた理事会で、新しい理事に古田貴之所長（未来ロボツト技術研究センター）が、評議員に稲葉祐一（就職・進路支援部）、前田修作（施設部）、池永憲明（上明也教授）が選任された。

新理事



古田貴之所長

新評議員



稲葉祐一 部長



前田修作 部長



池永憲明氏



井上明也教授



室川和也氏

（卒業生）が選任された。また、4月23日には井上明也教授（経営情報科）が選任された。

学友会 夏企画「習志野 夏の陣」 勇者諸君を待つ



（昨年のイベントに集まった学生たち）

学友会執行委員会の夏企画が、今年も新習志野キャンパス全てを利用して開かれる。

今年も戦国をイメージして「東軍対西軍」習志野夏の陣。戦国マニアも、広いキャンパスを走り回りたい！という諸君も、ぜひ参加を！

開催日 6月15日(日) 参加受付 5月19日

2015入学案内配布中!!



学生4会 新会長が抱負

先見性 養い 成長を



文化会 会長 吉野宏次郎

（機械サイエンス学科4年）文化会は、大学で公認されている文化サークルの総称です。現在35サークルが加盟しており、その活動を円滑に行えるよう常任委員、文化の祭典実行委員会を設置しています（所属団体は部・同好会・愛好会を問わず「サークル」と呼ばれます。他

大学のサークルとは意味が異なるので覚えておきましょう。「生きる（生活）の中で学ぶ」と書いて学生と読むように、私は学生の間にしか経験できないことが多くあると考えます。団体活動もその一つです。各サークルでその分野の技術と知識を磨けますが、最も学んでほしいことは団体活動に必要な先見の目を養うことです。「自分の立ち位置を理解し、メリットとリソースを測った上でサークルを発展させるための行動を模索する」——言葉では難しく聞こえますが、経験を積み重ねるに力です。この力がサークルをより発展させ、自らの成長にもつながります。失敗を恐れず挑戦して下さい。まだ遅くありません。興味を持ったサークルに足を運んで下さい。

参加し自分を磨こう



体育会 会長 神山拓哉

（情報工学科4年）体育会本部には現在35団体加盟し、各団体が目標達成のために日々鍛錬しています。スポーツは、多くの人とつながり、忍耐力や教養、マナーを身に付け、これを自らの糧として成長できる場でもあります。体育会本部は加盟団体の代表者から成り立ち、加盟団体が円滑に活動できるように施設管理や活動報告の管理を行い、サポートし、学内行事の企画運営も行っています。

毎年春に開かれる世界最大規模の家具・インテリアデザインの祭典「ミラノサローネ（ミラノ国際家具見本市）」に、今年もデザイン学科・山崎和彦教授の研究室から大学院生4人、学部生4人の計8人が4月6～14日の9日間の日程で参加し、作品を展示した。8人はトゥムルハドゥール・ウーレンさん、木内孝昌さん、伊藤孝行さん、村井貴行さん（以上修士1年）、丸山剛君、鈴木崇史君、鈴木正義君、西條美沙さん（以上学部4年）。桜の季節に日本らしさを、と山崎教授は「夜桜」の装いでブースを設営、日本から運んだ木材部材を組み立て、布を被せ、布と木材がうまく接

夜桜の装いでブース ミラノサローネを 山崎研8人が体験



作品は、参加者全員が和柄をモチーフに作った判子（印判）や個人制作、アクセサリーなどを並べた。レーザーカッターで切り出したアクセサリーや、動物を模した雑貨シリーズ「Steinle Zoo」（関東新製作所とのプロジェクト）が今年も人気で、各国来場者の質問が集まったという。ミラノサローネ

着しないなどの苦労があったが、きれいに仕上がった。壁や内部に桜の花びらを散らした。

作品は、参加者全員が和柄をモチーフに作った判子（印判）や個人制作、アクセサリーなどを並べた。レーザーカッターで切り出したアクセサリーや、動物を模した雑貨シリーズ「Steinle Zoo」（関東新製作所とのプロジェクト）が今年も人気で、各国来場者の質問が集まったという。ミラノサローネ

学生生活を豊かに



学友会 会長 北岡拓

（生命環境科学科4年）学友会では学生が自らの学生生活をより良くするための自治会です。その活動を率先するのが学友会執行委員会です。活動は、学生からの要望や陳情への対応、学内清掃活動、大学を知ってもらうための広報誌の制作発行、学生生活を豊かにす

000人が所属し、各部の主席を頂点に所属学生ひとりひとりが本学の看板を背負い戦っています。大学生活が物足りないと感じる方は是非とも興味のある団体へ足を運び、体育会という成長の場で自分に磨きをかけてください。

誇れる寮へ基盤づくり



寮友会 会長 高橋賢

（生命環境科学科4年）寮友会は今年度「和を重んじ、律せる寮生」の方針として運営していきます。人と人の和を大切に、自己を制御することの意味です。寮生活は集団生活で、近い環境に常に他者がいるため、自分本位で行動をとると他寮生に迷惑がかり、生活環境が悪くなります。他寮生も真似て悪循環に陥ることも考えられます。

多くを変えていくことになると思います。執行委を通じて、学友会を活気づけるきっかけにしていきたいと考えています。寮という社会の縮図のなかで楽しく充実して暮らしていくためには、自分の行動を制御しなければいけません。お互いにあいさつし、礼儀、責任感、感謝の心、思いやり、信頼を重視した生活をして、交友関係つまり「和」を広げる。多種多様な価値観を受け入れ、悪い点は指摘し合い、よい点は見習うことで、必ず自分を高めるとともに充実した寮生活が送れます。寮生全員が一般学生の模範になるくらいに自己を高めるとともに、誇れるような寮の基盤と伝統を作っていくことを考えています。

平成26年度予算案を承認

3月26日、東京スカイツリータウンキャンパスで開かれた理事会・評議員会で、平成26年度予算案が承認された。

高等教育を取り巻く環境

グローバル化した国際社会は、一部地域の問題が瞬時に世界中に影響を与え、先進国から途上国まで世界の国々の関係は緊密度を増してきている。欧米先進国では景気の下振れリスクが後退し、景気は徐々に力強さを増してきているが、中国経済は減速基調が見られ、世界経済は引き続き不透明な状況が続いている。

興が一步ずつ進みつつある中、福島第一原発の事故処理はまだまだ不透明な状況が続いている。経済を中心とした社会状況は、アベノミクス効果が徐々に表れ始め、株価、為替、雇用などに明るい兆しが見え始めている。

これら国際情勢の変化や国内社会の動向を踏まえ、文部科学省は、グローバル人材の育成、イノベーションの創出、経済再生、地域再生・活性化への貢献など、大学に求める社会的役割を明確に示し、これを実現するために大学のガバナンス改革を強く求めている。

一昨年に創立70年の節目を迎え、昨年から創立100年に向けて新たな取り組みを実行している。東京スカイツリータウンキャンパスでは、本年2月にArea IIを開設し、惑星探査研究センターの活動を中心に体験型アトラクションを展開し、大学の最先端の研究成果を広く社会にアピールする場として積極的に活用している。

現在大学として重点的に取り組んでいる留年者や退学者の抑制策については、学長のリーダーシップのもと、追加的な補習授業の実施や再試験制度の新設により、授業の到達目標や評価基準を維持しつつ、留年者及び退学者の減少に効果をあげている。これらの諸施策を継続するとともに、学生サポート制度や博士教育補助員制度を有効に組み合わせ、活用することにより、多様化する学生に対してきめ細かい学修支援を実施する。また、学部・大学院の新入生全員に貸与しているタブレット型端末を有効活用し、教職協働による学習支援態勢を今後も継続する。キャリア教育については、1年次からの教員工夫・努力を適切に評価し、FD（ファカルティ・ディベロップメント）の継続的な推進を図る。

大学院では、本学附属総合研究所等と連携した教育研究体制を充実させることにも、秋入学の実施等により留年者も含めた学生数の確保を図る。また、大学院生のプレゼンテーション能力、語学能力の向上のための全専攻共通科目を開講する。産官学連携については、附属総合研究所及びリエゾンセンターの機能を更に充実させ、研究の活性化と社会連携の強化を推進する。また、平成25年度に大幅な整備・改革を行った研究費の適正使用に関する管理体制については、今後も厳格な管理・運営を行い、大学の社会的責任を果たすよう努める。

国際化については、海外の大学との交流協定を引き続き積極的に拡大し、留学生の受入れ及び本学学生の海外留学とも増加させる。そのため、本学学生の語学力を向上させる企画を学部低学年から参加できるように形態で開催し、海外留学への興味と基礎力を醸成する。また、金融・経営リスク科学科国際コースを設置する。

なお、平成28年度に工学部の改組を行うべく平成26年度中に文部科学省への事前同様の書類を提出する予定である。激しい変化を続ける社会に対応すべく、新たな学部・学科体制で時代の要請に応え得る人材の養成を目指す。今後新たなディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づき、教育課程編成等を行う。また、平成26年度は認証評価機関による第三者評価受審の年であり、6月には自己点検評価報告書を提出する予定である。

新習志野キャンパスの学生寮竣工後は、学生寮敷地周りの外構整備工事に着手する。学生寮南側の空地に一般学生が使用する野球場やテニスコート、フットサルコートを整備し、西浜運動施設には多目的屋内練習場の建設を実施していく。一方、千種寮においては、寮閉鎖に伴う諸事務

や一部建物の解体工事を検討していく。既存建物の維持・補修に関しては、新習志野キャンパスにおける中長期的な建物改修計画を早急に検討していく。また、津田沼キャンパス8号館の空調更新工事や、講義室AV機器リプレース工事等の大型工事についても実施していく。

平成26年度予算の概要

- I【帰属収入】
 - 156億円（昨年度162億円） 昨年度比6億円減
 - 学生納付金は1億円の減少を見込み132億円とした。また、補助金3億円減、資産運用収入（1.5億円減）、手数料（0.5億円減）等いずれもマイナスと見込み、帰属収入は昨年度比6億円減の156億円とした。
- II【消費支出】
 - 149億円（昨年度150億円） 昨年度比1億円減
 - 消費税の増税があるが、昨年度比ゼロシリングの予算方針として編成した。
 - ①人件費は、兼務職員が増額があるものの、昨年度比0.5億円増の65億円とした。人件費比率は41.5%（昨年度39.7%）である。
 - ②教育研究経費は、入学生を対象にキャリア科目を新設するなど学生の教育に関する経費は引き続き充分に予算措置をした。
 - また、施設の充実による減価償却額の増加があるものの、昨年度行った基幹LANの更新に係る経費（主に消耗品費・修繕費）等がなくなったことと、昨年度比0.7億円減の68億円とした。
 - 教育研究経費比率は、43.9%（昨年度42.7%）である。
 - ③管理経費は、新習志野校舎の学生寮運営に伴う経費と東京スカイツリーキャンパス関係の経費増があるものの、昨年度
- III【基本金組入額】
 - 22億円（昨年度33億円） 昨年度比11億円減
 - (1)第1号基本金 組入れ額15億円
 - ①建物（西浜屋内運動施設）組入れ5億円
 - ②建物各所改修工事組入れ 3億円
 - ③構築物組入れ6億円
 - 同 除却額△1億円
 - ④教育研究用機器備品組入れ 9億円
 - 同 除却 △7億円
 - ⑤図書・車両他組入れ 1億円
 - 同 除却 △1億円
 - (2)第2号基本金 7億円
 - 校舎改修準備資金 組入額10億円
 - 使用額3億円
- IV【消費収支差額】
 - 以上の結果、当年度消費収支差額は15億円の支出超過、翌年度繰越額は61億円の支出超過となる予算である。

千葉工業大学 平成26年度予算

資金収支

(単位：円)

収入の部			
科 目	26年度予算額	25年度予算額	差 異
学生生徒等納付金収入	13,200,000,000	13,300,000,000	△100,000,000
手数料収入	220,000,000	274,000,000	△54,000,000
寄付金収入	100,000,000	97,000,000	3,000,000
補助金収入	1,100,000,000	1,416,000,000	△316,000,000
資産運用収入	350,000,000	500,000,000	△150,000,000
資産売却収入	0	1,000,000	△1,000,000
事業収入	380,000,000	344,000,000	36,000,000
雑収入	280,000,000	270,000,000	10,000,000
前受金収入	5,500,000,000	5,500,000,000	0
その他の収入	2,676,000,000	4,287,200,000	△1,611,200,000
資金収入調整勘定	△5,750,000,000	△5,709,300,000	△40,700,000
前年度繰越支払資金	5,906,200,000	7,217,000,000	
収入の部合計	23,962,200,000	27,496,900,000	△3,534,700,000

支出の部			
科 目	26年度予算額	25年度予算額	差 異
人件費支出	6,487,900,000	6,433,100,000	54,800,000
教育研究費支出	4,061,800,000	4,203,100,000	△141,300,000
管理経費支出	1,128,400,000	1,377,200,000	△248,800,000
施設関係支出	1,436,000,000	4,174,000,000	△2,738,000,000
設備関係支出	957,000,000	1,776,000,000	△819,000,000
資産運用支出	1,000,000,000	1,145,000,000	△145,000,000
その他の支出	2,560,000,000	2,861,000,000	△301,000,000
予備費	200,000,000	0	200,000,000
資金支出調整勘定	△400,000,000	△378,700,000	△21,300,000
次年度繰越支払資金	6,531,100,000	5,906,200,000	624,900,000
支出の部合計	23,962,200,000	27,496,900,000	△3,534,700,000

消費収支

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	26年度予算額	25年度予算額	差 異
学生生徒等納付金	13,200,000,000	13,300,000,000	△100,000,000
手数料	220,000,000	274,000,000	△54,000,000
寄付金	100,000,000	120,000,000	△20,000,000
補助金	1,100,000,000	1,416,000,000	△316,000,000
資産運用収入	350,000,000	500,000,000	△150,000,000
事業収入	380,000,000	344,000,000	36,000,000
雑収入	280,000,000	270,000,000	10,000,000
帰属収入合計	15,630,000,000	16,224,000,000	△594,000,000
基本金組入額合計	△2,238,000,000	△3,302,000,000	1,064,000,000
消費収入の部合計	13,392,000,000	12,922,000,000	470,000,000

消費支出の部			
科 目	26年度予算額	25年度予算額	差 異
人件費	6,487,900,000	6,433,100,000	54,800,000
教育研究費	6,855,000,000	6,928,700,000	△73,700,000
(内 減価償却費)	2,793,200,000	2,725,600,000	67,600,000
管理経費	1,544,000,000	1,533,400,000	10,600,000
(内 減価償却費)	415,600,000	156,200,000	259,400,000
資産処分差額	1,000,000	91,200,000	△90,200,000
消費支出の部合計	14,887,900,000	14,986,400,000	△98,500,000

当年度消費支出超過額	1,495,900,000	2,064,400,000	
前年度繰越消費支出超過額	4,610,000,000	2,545,600,000	
翌年度繰越消費支出超過額	6,105,900,000	4,610,000,000	

新任紹介 (敬称略) 本学の出会いや専門分野、野、趣味などを掲載しています

教員

鈴木 誠 教授 (建築都市環境学科)



建物も新しくきれいな職場。学生は比較のおとなしい印象。地盤工学における数値解析技術を基盤に、数理統計としての安全性・信頼性に基いた維持管理や地盤防災の研究をトータルアーツも含めて、社会に役立つ人材育成ができればと考えています。

寺田 大将 准教授 (機械サイエンス学科)



教員と学生の距離が近く、いい雰囲気な大学。学生とともに研究を進めつつ、組織の中でも自分をアピールできる理系技術者の育成に努めていきたいと思っています。趣味は魚釣り。

安川 雪子 准教授 (電気電子情報工学科)



下村 道夫 教授 (プロジェクトマネジメント学科)



近代的な高層ビルに驚きました。磁性材料の研究を通して新しい工学を創造したい。趣味は料理、読書、自然の中で過ごすこと。

藤木 竜也 准教授 (建築都市環境学科)



面キャンパス共に新しい装いもありつつ、学生の頃から変わらない面影。懐かしもうれしく思います。先輩教職員のも演奏も)。

久保田 拓朗 助手 (デザイン科学科)



大学院修了後2年間、多摩美術大学で職員を勤めていました。わずか2年ですがキャンパスがとてもきれいなっていいことに一番驚き、寂しいような懐かしいような不思議な感覚です。ものづくりの楽しさや技術を少しずつでも、学生たちに伝えていけたらと思います。趣味は読書、ビリヤード、ダーツ。

職員

戸田 瑛理 (財務部・事務職員)



千葉工大は学生も職員も明るく元気な人が多いと感じます。皆さんに負けぬよう明るく元気に大学を盛り上げていきたいと思っていますので、よろしく願います。趣味は旅行、映画鑑賞。

山崎 恭輔 (学生センター・事務職員)

文系出身の私にとっ、千葉工大の日々は



驚きや発見の連続です。まだまだ至らない点が多々ありますが、早く学生の皆さんの力になれるように頑張ります。趣味はテニス観戦、旅行。

渡邊 史恵 (学生センター・事務職員)



学生の皆さんが有意義な大学生活を送れるよう、サポートしていきたいと思っています。宜しくお願致します。趣味は旅行。

溝口 真理子 (研究支援部・事務職員)



少しずつですが大学の雰囲気にも慣れ、先輩方と楽しく仕事をさせていきたいです。慣れないことも多いですが、よろしく願います。趣味はディズニーリゾートへ行くこと。

杉田 佳乃子 (入試広報部・事務職員)

明るい先輩方に囲まれ、日々勉強の毎日です！一日も早く千葉工大



魅力を受験生の皆さんに伝えるプロの一員になりたいです。学生の皆さんとも、積極的に関わっていきたくです。よろしくお願致します！趣味は博物館巡り、ピアノ。

海老根 克磨 (入試広報部・事務職員)



入試広報課の先輩方とても優しく丁寧に業務内容を教えてくださいます。期待に込められるよう、一日でも早く一人前になりたいです！明るくハワーあふれる先輩方に負けないよう、若さで頑張ります。趣味は音楽鑑賞、野球。

仁井元 修 (総務部・警備員)



警備という仕事に対して一日も早く知識を得て、万全の態勢で勤務できるように努力していきたいと考えております。趣味はジョギング。

堀隆 (学生センター・警備員)

挺身赴難(旧軍から空



挺団に続いている伝統であり「身を挺して難局に赴く」という意味)を信条とし、職務にはげんで参ります。趣味はラグビー鑑賞。

布川 正広 (学生センター・警備員)



1、2年生が通う新習志野校舎で、警備にあたりますのでよろしくお願致します。趣味は釣り。

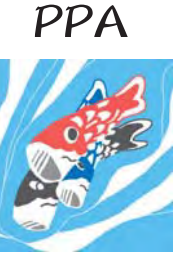
服部 憲助 (学生センター・警備員)



与えられた職務に対し、一生懸命頑張りますので、よろしくお願致します。趣味はラグビー。

おわび

4月15日号1面「平成26年度入学式」の記事で、在学生代表の酒井美咲さん(経営情報科学科4年)とあるのは(プロジェクトマネジメント学科4年)の誤りでした。おわびして訂正します。



PPA

五月の季節は初夏を表す「更衣」です。地球温暖化防止等の観点から、今年も本学では五月からクールビズを実施していきます。

ところで、事務局から5月号掲載のコラムの執筆依頼があり、ネタ探しのために「五月」でググってみました。「五月」

四季雑感



昨年度2月の大雪の日、4年生の卒業研究の発表会をしたことが、ついでこの間のように思いますが、暑く感じる日が増え、早くも夏の足音が聴こえ、今年は、本当に春が短かったように感じます。その短い春の間に卒業生を送り、新入生を迎

え、新しい年度がはじまりました。また、GWの連休も終わり、学生の皆さんは、5月病にかかる暇もないぐらい、講義に研究に忙しい日々が続いているのではないかと思います。

さて、先日、サッカーW杯の日本代表メンバーの発表があり、我が国もW杯に向け、非常に盛り上がりつつあります。彼ら最高の舞台で日本を代表し世界各国の代表と鎗

の業務においても、こんな調子でなんとかやり過ごしていたものの、入社当時から私をよく知る上司に、この一部始終をのぞかれ、「大橋も年取ったな！昔はキレキレだったのに！」と、まさかの褒め言葉(いやいや、ダメ出しですね)に、近年の墮落した仕事ぶりを棚上げ、過去の栄光にしばし浸ってしまっ

た。しかし、単に課長の出張先を口にするにも、ベ

とつく言葉は多いもので、「こがつ」と読むものと「さつき」と読むものがあります。どうも、「五月」を「さつき」と読む場合は陰暦での5月(陽暦の6月)を指し、「こがつ」と読む場合は陽暦での5月を指すようです。五月織は「さつきおり」、五月女と書いて「さおとめ」と読み、都会の初夏では蠅がうるさくてという昭和な風情がなくなりましたからでしょう。

生命環境科学科 橋本 和明

本学の建学の精神は「世界文化に技術で貢献する」です。新入生、在学生そして卒業生には、彼らに負けず、勉学、研究そして課外活動などに打ち込み、必ずや世界の舞台で活躍できる人になっていただきたく思います。

メスエラ、ブラジルあ、ベトナムだ、と必ず二つ三つ国名を出さないと、本命に辿り着かなかったり、何を説明するにも周回は？顔の連発だ。

最近のヒットは「私のクロックスがない」とあちこちを探していたら、同僚が笑顔で「フリクション(ボールペン)を手渡ししてくれた。言い間違い？にも程がある。

入試広報課 大橋 慶子



最近、何かにつけて、意とする単語を発することかできずもどかしい思いをしている。

「ほらほら、なんだっけ？ あれよあれ！」 一日に何度この言葉をつぶやいているのだろうか……ギネスに挑戦レベルも夢ではない。

同僚との会話や課内で